

昭薬同窓会会報

「ニッコウキスゲ *Hemerocallis dumortieri*」「ホタルブクロ *Campanula punctata*」

撮影者／香川支部 安西 英明様 (D-23A 昭和50年卒) 撮影地／長野県茅野市車山ならびに諏訪校舎

理事及び監の選出並に立候補届等受付に関する告示

【主な内容】

巻頭言 「変化する社会の潮流」 同窓会会長

寄稿 「我が学生時代の思い出」 中谷 匡佐 氏 (D-47Y 平成11年卒)

60周年記念事業

第11回 一般社団法人昭薬同窓会社員総会報告

新社員紹介

支部会紹介 岩手支部

支部会だより 東京城北支部

学究の広場 「COVID-19治療薬の紹介」 吉成 清志 氏 (D-30B 昭和57年卒)

平成塾薬剤師業務支援講座報告

〈かかりつけ〉を意識した取り組みと在宅業務における現状と課題

循環器疾患の最新の薬物治療と薬剤師が注意すべきポイント

著書紹介 「色は匂へど散りぬるを」へ込めた思い 藤本 美智子 氏 (D-11B 昭和38年卒)

昭薬ミニミニクイズ

昭薬同窓生リレー寄稿 第8回 柴田 雄亮 氏 (D-51S 平成15年卒)

会員のひろば

お知らせ



変化する社会の潮流

一般社団法人昭薬同窓会会長

逸見 仁道 (D-22B/M5 昭和49年卒)

2019年12月から始まったコロナ禍はさまざまな分野へ影響を及ぼし、新常态という言葉も生み出しました。遠隔による情報交換手段はネットの可能性と限界をつまびらかにしましたが、対面による情報取得の重要性に気づいた方々も多いと思われます。我が国でのコロナ薬の普及は今ひとつですが、対コロナのもう一方の強力な手段である免疫能の獲得はワクチン接種や感染拡大により先が見えてきたと言っても良い状況になっているように感じます。

昨今の話題は物価の値上がりでしょうか。個人的には電気代の高騰ぶりが目を惹きます。我が国の電力は火力発電が主で、その燃料代が高騰しているとの報道でした。以前から電気代の値上がりや電力逼迫のニュースに触れるたびに、既設の原子力発電を利用しないことに疑問を持っていました。原子力発電に反対する人たちは、放射線の怖さや福島原発の惨状を理由に挙げます。原子力発電の話は稿を改めて述べたいと存じます。ここでは放射線も含めた電磁波と地球上の生物のDNA修復機構について紹介したいと思います。

過去の研究テーマに関連した話となりますが、リンチ症候群という遺伝性の疾患があります。日本人ではほとんど見られませんが、欧米人では高頻度で大腸がんや白血病などが若年で発生します。この原因遺伝子がDNA修復酵素の一つです。この研究を始めた頃は大腸菌の遺伝子のみが配列決定されており、関心の低さを物語っていました。リンチ症候群の原因遺伝子と同定されたのを機に関心も高まり、様々な生物の修復遺伝子の配列や機能が明らかにさ

れました。下等な微生物から高等生物まで修復遺伝子の相同性は非常に高いことから、DNA修復は地球での生命体誕生のごく初期から存在し、降り注ぐ電磁波から種を守る役割を果たしてきたのでしょうか。無論、修復能力には限界がありますが、太陽から降り注ぐ通常の電磁波には十分抵抗できます。すなわち、我々人類を含めた地球上の生物はある程度の放射線に抵抗力を有しており、むやみに恐れる必要はないという結論になります。

もう一つはウクライナ危機です。ロシアの侵攻により小麦粉の値上がりとか天然ガスの供給、果ては国防に関することまで幅広い論議が巻き起こっています。思い出すのは約40年前の米国留学中のことです。米国人やイタリア人、ベネズエラ人など数名と話しているうちに国や家族をどう守るかという話題になりました。日本人以外は即答で「戦う (I will fight)」と答えましたが、私を含めた3名の日本人はこの話題に乗れませんでした。要は家族を守るとか国を守るといった概念が欠落していたのです。現在でもこの他力本願的な平和ボケ状態は変わっていないと思います。世界を見れば「I will fight」の人たちが大半で、このような人たちとどう付き合っていくかが課題となります。「話し合いで解決」が通じない相手がいることをウクライナ危機は改めて教えてくれました。自分の家族は自分で守るしかないということを念頭に対応していかなければなりません。エネルギーや食糧の問題も含めて、様々な場面で心の持ちようを根本から見直す波が押し寄せているように感じます。

【表紙解説】 ニッコウキスゲ (*Hemerocallis dumortieri*) ホタルブクロ (*Campanula punctata*)

白樺校舎へ行くまで見たこともない黄色い百合のような大きな花、ニッコウキスゲに四国香川育ちの私は魅了されました。その後、白樺校舎へ行くたびに大きな黄色い百合が好きな花になりました。車山に群生しているのを生物学の中村卓造先生と見て回ったことが思い出されます。このニッコウキスゲは45年前の車山で咲いていたものです。当時私は沖繩附属高校の学生さんの生物学の実習で中村先生のお手伝いをしていました。校舎と宿泊棟の間の毎日通っていた小径にはホタルブクロも咲いていました。紫色の大きな袋状の花、ホタルブクロの名前の由来が想像できます。紫色の花は桔梗くらいしか知らなかった私ですが、6~7cmもある大きなふっくらとした釣り鐘形の花がかわいらしく咲いているのを見られたことも当時の私には驚きでした。

ニッコウキスゲ：ユリ科ワスレグサ属 山地や高山の草原などに群生する50~80cmの多年草で花は7~8月。

ホタルブクロ：キキョウ科ホタルブクロ属 別名 提灯花 (ちょうちんばな) 北海道から九州にまで分布している多年草。初夏が花期です。庭植えや鉢植え、盆栽と多様な育て方があります。

(香川支部 安西 英明 様 D-23A 昭和50年卒)

【寄稿】

我が学生時代の思い出

中谷 匡佐 (D-47Y 平成11年卒)

はじめに、今般のコロナの災禍に遭われた方にお見舞い申し上げますとともに、対応にあたられている先生方に敬意を表します。本稿が掲載される頃には収束することを祈念します。

この度、同窓会誌寄稿の機会を頂き光栄に思います。卒業後二十年以上が経過し、記憶も曖昧であり、人様に披露できるようなエピソードもありませんが、学生時代の思い出として学生生活、部活動、国家試験について以下に記したいと思います。

田舎を出て期待と不安の中で学生生活が始まりました。当時は地下鉄サリン事件直後で、入学時の研究室見学で有機化学系の実験室に惹かれたことを憶えています。この時の刷り込みか、後述の部活動の影響か、有機化学系の研究室に入り、大学院まで進むことになりました。

学生生活は、下宿、大学（部室）、居酒屋のループで、部活の同期のD君や後輩になった1期上のM先輩と飲み歩いていましたが、授業には真面目に出席していました。M先輩から「去年の自分を見るようだ。」と言われた恐怖からの行動だったと思います。そのおかげか、追試はあるものの単位は落とさず進級できました。今から思えば、過去問の傾向や授業の内容か

ら対策を立てればもっと楽だったと反省しています。

部活動は前述のM先輩のいる空手道部に勧誘され、D君と入部しました。不思議な縁でD君とは顧問のT先生のいる研究室に入り大学院までお世話になりました。T先生には、ひょんなことから後の就職先のS先輩を紹介され、成り行きで受験しそのまま就職することになりました。また、部の監督のC先輩とはT先生の留学先を訪ねてテキサスまで行くことになり、空手道が結んだ縁に驚きます。

私にとって学生時代の一大イベントは国家試験でした。4年の途中から本格的に勉強を始め、ひたすら過去問を解きました。その際、単に正解の選択肢を選ぶのではなく、正解ではない選択肢の何が間違っているのかを意識し、出題頻度の高い分野を優先的に2～3回繰り返し解きました。試験会場は東京薬科大学と遠かったのですが、早朝からD君と和気藹々と進出し、リラックスして受験でき無事合格しました。

最後に、学生時代を思い出すにあたり、思いがけず過去の自分を振り返る機会に恵まれ、今では何処かに忘れてしまった前向きな気持ちを思い出すことができました。改めてこのような機会を頂けたことに感謝いたします。ありがとうございました。

60周年記念事業報告

一般社団法人昭葉同窓会 代表理事（会長） 逸見 仁道
同 副会長・60周年記念事業実行委員長 寺門 哲

60周年記念事業はコロナ禍のため紆余曲折があり、当初の計画を大幅に変更せざるを得ず、ことに対面での講演会や祝賀会の開催が見送られ、旧交を温めることが出来なかったことは誠に残念でなりません。しかしながら、当初の計画にありました60周年記念誌（同窓会報第122号）が発刊出来たのは皆様のご支援の賜物と感謝致しております。ここに会計報告を含む事業報告をさせていただきます。

【会計報告】

寄付額 3,212,000円 内訳：2020年度1,452,000円（120名）、2021年度 660,000円（32名、2団体）
支出額 1,604,693円 内訳：会報印刷費（11,500部）1695,915円 送料（10,959部） 908,778円
残 額 1,607,307円

【事業報告】

- 60周年記念誌は住所判明者全員へお届けすることを目標にしました。最終的な同窓生への発送部数は10,968名分で、戻った部数は698名分でした。配送率は $10270 \div 10968 \times 100 = 93.6\%$ となりました。限りなく100%に近い数字が理想と思われませんが、この数字が意味するところは不明です。同窓会報は通常2,800部前後の発送となっておりますので、新たに7000名を超える同窓生のお手元に記念誌をお届けできたこととなります。なお、戻った分につきましては現在、新たなお届け先を調査中です。
- 残金の取り扱いについて
 - ・本年中に寄付者全員（団体を除く）へ礼状と記念の品を贈る予定です。（予算約20万円）
 - ・記念品代を除いた残額約140万円の使用方法については60周年記念教育基金（仮称）準備委員会を立ち上げ検討する予定です。

第11回 一般社団法人昭薬同窓会社員総会報告

第11回一般社団法人昭薬同窓会社員総会は新型コロナウイルス感染防止に協力するため、令和3年社員総会と同様従来型の集会を行わず、書類審議並びに遠隔会議を併用した変則的な形で開催することを4月3日（日）の理事会において決定し、下記の手順に基づいて、各社員の議案賛否数の確認と各議事の承認確認を行った。

1. 社員総会資料の送付（通常通り：事務局→社員全員） 5月11日
2. 報告審議事項の確認及び質問書提出（社員→事務局） 5月20日 必着
3. 質問や意見の集約と質問への回答審議（理事会） 5月22日
4. 質問書への回答及び追加資料等の送付（事務局→社員全員） 5月下旬
5. 議案についての賛否返送（社員→事務局） 6月13日 必着
6. 社員総会（出席は役員および議事運営委員長） 6月19日 13：00～

・各社員の議案賛否数の確認 ・議事の承認

日時：令和4年6月19日（日）13：00～15：30 場所：昭薬会館5階会議室

議長：逸見仁道（一般社団法人昭薬同窓会代表理事）

書記：今泉眞知子（理事） 島袋幸昭（理事）

出席者：理事 逸見仁道、田口恭治、寺門哲、今泉眞知子、小川洋子、神戸敏江、嶋田直樹、島袋幸昭、鈴木秀樹、豊川夕姫、村上純子

監事 小野寺敏、高田公彦 議事運営委員長 野崎芳雄

WEB参加者 青森支部：齋藤士郎、茨城支部：青山芳文、神奈川湘南支部：木下泰男、東京多摩南支部：炭谷敦子、香川

支部：安西英明、佐賀支部：藤戸博、D-29Bクラス：川神裕司（敬称略）

社員総数：95名（支部選出社員39名、クラス選出社員41名、部活クラブ2名、社員役員13名） この議決権の数 95個

・当日出席社員数：14名（理事11名、監事2名、議事運営委員長1名）

・WEB参加数：7名（支部選出社員6名、クラス選出社員1名）

・議案賛否返送数：39名（支部選出社員18名、クラス選出社員19名、部活クラブ2名）

・委任状：6名（支部選出社員2名、クラス選出社員4名） ・この議決権の数 66個

開会の辞：田口恭治副会長

田口恭治副会長はインターネットを利用したWEB会議出席者の映像と音声即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が相互に可能となっていることを確認し、定数確認の結果、社員総数95名の内、出席数14名、WEB参加者数7名、議案賛否票数39名、委任状6名、本日の議決権の数は合計66個で定款第22条の規定により、総会は開催が成立している旨、報告し総会開会が宣言された。

その後、令和3年度社員総会以降、逝去が判明した物故者（56名）の紹介の後、黙祷を捧げた。

代表理事挨拶：逸見仁道

新型コロナウイルス感染防止の観点から昨年同様今年もWEB参加者と書面による変則的な社員総会開催となりました。今年の世界ではロシアのウクライナ侵襲による軍事的緊張、国内では物価の上昇や所得の減少等の問題もありますが、来年は社員出席による対面での総会を開催したいと思っています。今後とも同窓会に対する協力、ご理解をよろしくお願ひします。

定款20条1項に基づき代表理事が議長を務める。

議長登壇：逸見仁道代表理事

書記に今泉眞知子（理事）、島袋幸昭（理事）を任命し、野崎芳雄議事運営委員長が議事日程について説明を行った。

野崎芳雄 議事運営委員長

今年の総会も通常の会場集合に代わり郵送による書面表決書とweb参加による遠隔会議の複合形式による総会の開催となったので、第11回社員総会資料の議事日程とすることについての可否について、議事運営委員に書面による賛否の結果、いずれも承認されたので議事進行については日程の内容に沿って進めて頂きたい。時間については変則的な開催でもあるので審議内容に合わせて随時変更し、時間内終わらせるようにして頂きたい。

報告第1号 令和3年度会務事業報告

議長が報告第1号、令和3年度（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）の会務事業を資料に基づき説明した。

報告第1号 令和3年度会務事業報告に関する質疑、提案、意見等について なし。

報告第1号、令和3年度の会務事業報告の賛否

報告第1号の賛否を確認したところ、承認66名、反対0人、賛成多数で承認された。

議案第1号 令和3年度一般会計決算（案）

令和3年度監査報告

議長が議案第1号、令和3年度一般会計決算（案）について説明した。

令和3年度監査報告については小野寺敏監事が次のとおり報告した。

会計については、会計処理、銀行通帳及びこれに関する資料について調査した。また、理事の職務については、理事会に直接参加し直接観察した。以上の結果から、定款に違反する事実は認められず、いずれも適正に運用されている事が認められた。

議案第1号 令和3年度一般会計決算（案）及び令和3年度監査報告に関する質疑、提案、意見等について なし。

議案第1号 令和3年度一般会計決算（案）及び監査報告の賛否

議案第1号の賛否を確認したところ、賛成65名、反対0人、賛成多数で可決された。

議案第2号 令和4年度会務事業計画（案）

議長が議案第2号、令和4年度会務事業計画（案）を資料に基づき説明した。

議案第2号、令和4年度会務事業計画（案）に関する質疑、提案、意見等について

【質問】青森支部 齋藤士郎社員

地方では同窓会を開催しようと思っても若い会員の所在が分からない。会員の連絡先は把握しているか。

【回答】逸見仁道代表理事

4年制卒でD57-Yまではわかるが、6年制の卒業生については大学からの情報の提供がなくわからないが、平成塾の受講を進めるなどをして収集に努めている。

【意見・要望】野崎芳雄 議事運営委員長

同窓会を活性化させていくためには6年制卒の入会が欠かせない。大学から名簿の提供がなければ、同窓生の広場を使ってSNSで繋がりが持たないか検討して頂きたい。

【回答】逸見仁道代表理事

試してみたが、反応がなかった。SNSはある目的を持っているにしか使用されない。若い世代の思考パターンが良くつかめない。部活に活路を求めているが今後も、働きかけ

をしていきたい。

議案第2号 令和4年度会務事業計画（案）の賛否

議案第2号の賛否を確認したところ、賛成65名、反対0人、賛成多数で可決された。

議案第3号 令和4年度一般会計予算（案）

議長が議案第3号 令和4年度一般会計予算（案）について資料に基づき提案した。

議案第3号 令和4年度一般会計予算（案）に関する質疑、提案、意見等について

【意見・要望】野崎芳雄 議事運営委員長

組織部の令和4年度の会費納入者の拡大計画とも関連するが令和3年度の会費納入者は866名で予算案の計画数は実態とかけ離れている。短期的な目標で20%程度の拡大計画と長期的な拡大目標とに分けて一緒に考えていく必要もあると思う。

【回答】逸見仁道代表理事

短期的に会費納入率を上げていく提案はありがたいが受け止めるますが、予算案の中で目標は大きく掲げた方がよいということと案とした。コロナの関係で会費納入の振り込み要請もできないことも関係しているので現状は厳しい状況である。

議案第3号 令和4年度一般会計予算（案）賛否

議案第3号の賛否を確認したところ、賛成65人、反対0人、賛成多数で可決された。

以上をもって議事が終了したので議長は閉会を宣して降壇し、インターネットを利用したWEB会議システムは終始異常なく、田口恭治副会長が閉会の辞を述べ、第11回社員総会を終了した。

議案第2号

令和4年度会務事業計画（案）

【総務部】

1. 同窓会名簿の管理

名簿管理用PCの更新を行い新卒者及び住所未確定者の住所確定率の向上を図り、会費納入率と同窓生の連携を強化する。

【活動方針】

住所未確定会員の調査及び会費未納会員にクラス代表と協力し依頼状を送付する

2. 大学の行事及び同窓会関連行事の収集・伝達

大学関連の行事を通じて大学関係者や在校生との関わり、信頼関係を築いていく。

3. 同窓会活動の情報提供

社員総会や理事会の議事録作成等をはじめ。支部会・クラス会、その他、必要事項の伝達（HP掲載）や情報提供を行い、同窓会活動を円滑に進める。

4. 社員未選出のクラス、支部、部活クラブ社員の選出

【活動方針】

(1) クラス社員の選出

①理事・監事のクラスで社員未選出クラスは該当、理事・監事が推薦する。

②支部社員のクラスで社員の未選出クラスは該当、支部社員が推薦する。

(2) 支部社員の選出

①社員未選出の支部は、理事、監事、クラス社員、部活クラブ社員が推薦する。

(3) 部活クラブ社員の選出

①社員がいない部活クラブは理事、監事、クラス社員が所属していた部活クラブについて推薦する。

【学術部】

【基本方針】

地域医療を担う薬剤師を対象として、学術ならびに行政や社会の医療ニーズにあわせた情報をWeb等で発信する。平成塾運営委員会を中心に平成塾通信講座、スクーリングを年2回と薬剤師業務支援講座を年4-5回開催し、薬剤師生涯研修プロバイダー（G12）として活動し、支部会と連携しながら支部での研修会開催に働きかけをする。

【活動方針】

1. 平成塾通信講座

今年度の平成塾通信講座のテーマ

(1) 消化器系疾患の薬物療法、(2) 呼吸器・胸部疾患の薬物療法を取り上げ、これらの疾患の病態生理とその治療薬の把握を目指す。

1) ①消化性潰瘍（胃・十二指腸潰瘍）と薬物療法

議案第1号

令和3年度一般会計決算

(1) 歳入の部（予算）

(単位：円)

科目	令和3年度 予算	令和3年度 決算	増減	備考(括弧内は実績)
同窓会費	4,500,000	2,598,000	-1,902,000	納入者数1500(866)名
雑収入				
貯金利息	100	31	-69	
広告料	50,000	5,000	-45,000	広告10件(5000x1)
寄付金等	1,800,000	585,000	-1,215,000	運営協力金900口(292.5口)
その他	50,000	32,241	-17,759	
平成塾	600,000	489,869	-110,131	受講者40名(31名)
認定薬剤師等	150,000	30,000	-120,000	延べ人数50名(10x5) 認証6名(3)名
積立金より繰入	0	0	0	
前年度繰越金	4,888,909	4,888,909	0	
収入合計	12,039,009	8,629,050	-3,409,959	

(2) 歳出の部（予算）

(単位：円)

科目	令和3年度 予算	令和3年度 決算	増減	備考
会議費				
代議員会・総会	500,000	100,004	-399,996	
理事会・部会	506,000	479,377	-26,623	理事会9回、部会6回
小計	1,006,000	579,381	-426,619	
事業費				
広報関連費				
会報	1,200,000	1,075,401	-124,599	会報発行(2回)送料等含む 前年3月発行分含む
HP管理料	600,000	660,220	60,220	
小計	1,800,000	1,735,621	-64,379	
学術関連費				
平成塾	810,000	527,164	-282,836	会場費・講演料・交通費、CPC年会費、CAPEP年会費(協議会)
その他	60,000	0	-60,000	調査料(書籍代等)
小計	870,000	527,164	-342,836	
渉外関連費	30,000	109,182	79,182	CPC、CAPEPの会議費等
記念事業関連費	100,000	0	-100,000	60周年記念事業費補助
小計	2,800,000	2,371,967	-428,033	
慶弔費	40,000	0	-40,000	慶弔関係
人件費	1,800,000	1,939,676	139,676	事務局員給与・交通費
通信費	200,000	144,549	-55,451	電話、FAX、OCN利用料
諸経費	600,000	544,111	-55,889	ハガキ、封筒、文具、送料など
O A 関連費	50,000	143,667	93,667	パソコン関係
小計	2,690,000	2,772,003	82,003	
支部会関連費	300,000	107,340	-192,660	支部会参加旅費、懇親会費など
各種助成金	400,000	10,330	-389,670	支部会、クラス会、クラブOB会助成金
小計	700,000	117,670	-582,330	
予備費	10,000	0	-10,000	
小計	10,000	0	-10,000	
支出合計	7,206,000	5,841,021	-1,364,979	
繰越金	4,833,009	2,788,029	-2,044,980	
支出総合計	12,039,009	8,629,050	-3,409,959	

令和3年度 災害基金決算

(1) 歳入の部

科目	令和3年度決算額	備考
前年度繰越金	958,950	
災害寄付金	292,000	
収入合計	1,250,950	

(2) 歳出の部

科目	令和3年度決算額	備考
見舞金	0	
見舞状作成・送付	0	
繰越金	1,250,950	
支出合計	1,250,950	

同窓会財産目録

令和4年3月31日現在

科目	令和3年3月31日現在	令和4年3月31日現在		
現金	399,576	76,024		
みずほ銀行	普通	36,212	419,875	
横浜銀行	普通	4,034,718	1,734,156	
郵便局会費振込み口座	普通	265,798	163,785	
郵便局平成塾振込み口座	普通	44,495	93,518	
ゆうちょ銀行	普通	108,110	300,671	
小計	4,888,909	2,788,029		
積立金				
横浜銀行	定期	5,213,003	5,213,091	
みずほ銀行	定期	16,295,620	16,295,896	
三菱UFJ信託銀行	普通	469,615	468,519	
三菱UFJ信託銀行	定期	10,000,000	10,000,000	
小計	31,978,238	31,977,506		
特別会計	りそな銀行 災害基金	普通	958,950	1,250,959
特別会計	60周年記念事業寄付金		1,452,000	3,212,000
同窓会財産合計		39,278,097	39,228,494	

- ②腸炎、潰瘍性大腸炎の病態生理と薬物療法
- 2) ③過敏性腸症候群の病態生理と薬物療法
- ④クローン病・虫垂炎の病態生理と薬物療法
- 3) ⑤慢性閉塞性肺疾患の病態生理と薬物療法
- ⑥気管支喘息の病態生理と薬物療法
- 4) ⑦上気道炎・急性気管支炎の病態生理と薬物療法
- ⑧インフルエンザ、肺炎、間質性肺炎の病態生理と薬物療法

これらのテーマは平成塾運営委員会でスクーリングや薬剤師業務支援講座でのアンケート結果で決定した。

2. 平成塾薬剤師業務支援講座の開催日
(日程及び演題はコロナ禍の状況により変更される可能性あり)
- 1) 薬剤師業務支援講座 1 5月22日(日)
玉屋利兵衛 安井 浩 先生(山形県)
 - 2) 薬剤師業務支援講座 2 7月24日(日)
 - 3) 薬剤師業務支援講座 3 10月23日(日)
 - 4) 薬剤師業務支援講座 4 11月20日(日)
 - 5) 薬剤師業務支援講座 5 1月29日(日)(2023)
3. 平成塾スクーリングのテーマと開催日
- 1) 第27回平成塾スクーリング
消化器系疾患の薬物治療・漢方 2022年9月25日
 - 2) 第28回平成塾スクーリング
呼吸器・胸部疾患の薬物治療・漢方 2023年2月19日

【組織部】

1. 会費納入者の拡大
会費納入会員3000名達成を目指して、理事・各支部及びクラス選出社員が連携して、クラス・支部会員、友人、知人また職場での同窓生への会費納入の働きかけをする。

2. 支部会・クラス会活動の活性化
- 1) 横浜北支部(仮称)の発足に向けて引き続き注力する。
 - 2) 休眠支部の支部開催を支援する。
 - 3) クラス会の積極的開催を支援する。
特に還暦前後の年齢層を主に呼びかけを行う。
 - 4) 部活クラブ会の開催支援と呼掛けの強化をする。
3. 九州山口薬学大会における活動
- ・開催日程 2022年9月18日(日)・19日(月・祝)
 - ・開催場所 熊本城ホール
〒860-0805 熊本県熊本市中央区桜町3番40号
TEL: 096-312-3737 FAX: 096-312-3738
 - ・学会に出席する同窓生の懇親会を開催し、親睦をはかる。
 - ・九州山口地域の支部活動の活性化を図る。

4. 日本薬剤師会学術大会における活動
- ・開催日程 2022年10月9日(日)～10日(月:祝)
 - ・開催場所 仙台国際センター、東北大学百周年記念会館
〒980-0856 仙台市青葉区青葉山無番地
 - ・学術大会に出席する同窓生の懇親会を開催し、親睦をはかる。
 - ・東北地域の支部活動の活性化を図る。

【広報部】

1. 会報をより充実する。
- 1) 同窓会活動の報告
 - 2) 123号・124号の発行
 - 3) 生涯学習に関する掲載
平成塾スクーリング、薬剤師業務支援講座講演をしていただいた先生や卒業生からの寄稿、現在携わっている仕事・研究等の寄稿等を願います。
 - 4) 会員相互の親睦、交流に関する掲載
支部会、クラス会等の開催情報・報告また会報への「わが母校」、「我が学生時代の思い出」の執筆・写真の提供についてご協力いただくことにより同窓生の輪をより広く発展させたい。

- 5) 全国の支部紹介を企画する。
- 2. ホームページの活用
同窓会ホームページの見直し等を行うことにより更なる充実を図り、広く情報を発信し、会員相互の交流・親睦をより深める場としても活用されることを目指す。

【会計部】

1. 収入の増加策
- 1) 組織部及び広報部と連携した会費納入率の向上、広告費や寄付金等の呼掛けにより収入増を図る。
 - 2) 会費納入率の向上については総務部、クラス社員、理事・監事と協力し会費未納会委員に依頼状を送付する。
 - 3) 学術部と連携し、平成塾の通信講座、スクーリング、業務支援講座等の参加者を増やし平成塾の自立した会計収支を目指す。

議案第3号

令和4年度一般会計予算案

(1) 歳入の部(予算)

(単位:円)

科目	令和3年度 予算	令和3年度 決算	令和4年度 予算	予算増減	備考 (令和4年度分)
同窓会費	4,500,000	2,598,000	4,500,000	0	納入者数1500名
雑収入					
貯金利息	100	31	100	0	
広告料	50,000	5,000	50,000	0	広告10件(5000x10)
寄付金等	1,800,000	585,000	1,800,000	0	運営協力金900口
その他	50,000	32,241	50,000	0	
通信講座	600,000	489,869	600,000	0	受講者40名
認定薬剤師等	150,000	30,000	150,000	40,000	延べ人数500名(100x5) 認証5名
積立金より繰入	0	0	0	0	
前年度繰越金	4,888,909	4,888,909	2,788,029	-2,100,880	
収入合計	12,039,009	8,629,050	9,938,129	-2,100,880	

(2) 歳出の部(予算)

(単位:円)

科目	令和3年度 予算	令和3年度 決算	令和4年度 予算	予算増減	備考 (令和4年度分)
会議費	500,000	100,004	120,000	-380,000	WEB会議整備費含む
代議員会・総会	500,000	100,004	120,000	-380,000	WEB会議整備費含む
理事会・部会	506,000	479,377	506,000	0	理事会10回、部会6回
小計	1,006,000	579,381	626,000	-380,000	
広報関連費					
会報	1,200,000	1,075,401	600,000	-600,000	会報発行(1回)送料等 記念号は別会計
HP管理料	600,000	660,220	660,220	60,220	
小計	1,800,000	1,735,621	1,260,220	-539,780	
事業費					
学術関連費					
平成塾	810,000	527,164	810,000	0	会場費・講演料・交通費、 CPC年会費、CAPEP 年会費(協議会)
その他	60,000	0	240,000	180,000	調査料(書籍代等)、 WEB研修設備・ PLESO経費
小計	870,000	527,164	1,050,000	180,000	
渉外関連費	30,000	109,182	30,000	0	CPC、CAPEPの会議費等
記念事業関連費	100,000	0	0	-100,000	
小計	2,800,000	2,371,967	2,340,220	-459,780	
事務費					
慶弔費	40,000	0	40,000	0	慶弔関係
人件費	1,800,000	1,939,676	2,000,000	200,000	事務局員給与・交通費
通信費	200,000	144,549	200,000	0	電話、FAX、OCN利用料
諸経費	600,000	544,111	732,000	132,000	ハガキ、封筒、文具、 送料など
O A 関連費	50,000	143,667	250,000	200,000	パソコン関係・会員管理移行
小計	2,690,000	2,772,003	3,222,000	532,000	
活動費					
支部関連費	300,000	107,340	300,000	0	支部会参加費、懇親会費など
各種助成金	400,000	10,330	400,000	0	支部会、クラス会、 クラブOB会助成金
小計	700,000	117,670	700,000	0	
予備費					
予備費	10,000	0	10,000	0	
小計	10,000	0	10,000	0	
支出合計	7,206,000	5,841,021	6,898,220	-307,780	
繰越金	4,833,009	2,788,029	3,039,909	-1,793,100	
支出総合計	12,039,009	8,629,050	9,938,129	-2,100,880	

「自然災害の被害を受けられた方・ご存知の方」情報提供のお願い

昭葉同窓会には震災や豪雨による洪水・台風などの自然災害による被害を受けられた同窓生に対する見舞金制度があります。しかしながら、最近頻発する自然災害の被災者の情報を入手することが難しい状況になっています。そこで、震災や豪雨など自然災害を受けられた同窓生の方ならびに被災された同窓生をご存知の方は、事務局へ情報の提供(電話・fax・e-mail)をお願いします。

なお、見舞金制度の原資として会費から独立した災害基金があります。災害基金へのご寄付も常時受け付けております。互助の精神でよろしくをお願いします。(災害寄附口座は15頁をご参照ください。)

2022年 社員名簿

2022年4月現在

支部選出社員				クラス選出社員			
No	支部	社員		No	支部	社員	
1	北海道道央	渡辺 良樹	D-24B	23	福井	小林 広幸	D-34B
2	青森	齋藤 士郎	D-24B	24	長野	大熊 哲汪	D-17A
3	秋田	三浦 敦子	D-25A	25	山梨	浅川 力三	D-22A
4	岩手	宮 良男	D-24A	26	静岡	鈴木 典之	D-24B
5	山形	松田 慎一	D-18A	27	愛知	伊藤 裕至	D-29B
6	福島	関 孝一	D-18B	28	近畿	堤 亮一	D-33B
7	茨城	青山 芳文	D-36B	29	京都	滋賀 本部 一郎	D-21B
8	栃木	鹿村 恵明	D-36A	30	岡山	小山 敏章	D-32A
9	群馬	田中 由一	D-17A	31	広島	吉田 稔	D-6B
10	千葉	加藤 正博	D-14B	32	山口	末廣 隆	D-31A
11	神奈川東	小澤 博	D-1	33	香川	安西 英明	D-23A
12	川崎	白井 博	D-21A	34	高知	堀岡 宏稔	D-31A
13	横浜南	吉原 隆一	D-19A	35	佐賀	藤戸 博	D-23B
14	湘南	木下 泰男	D-24B	36	大分	淵 祐一	D-22A
15	北相	高取 享	D-14A	37	熊本	大川 正晃	D-32B
16	西相	原田 哲夫	D-23A	38	鹿児島	坂元 成行	D-25A
17	城南	佐藤ひとみ	D-30B	39	宮崎	大西 直	D-27A
18	城北	吉田 定	D-16	部活選出社員			
19	多摩	大西 義雄	D-14B	No	部活クラブ名	社員	
20	多摩南	炭谷 敦子	D-29A	81	合唱部	吉本 文男(D-26A)	
21	新潟	曾我 陸巳	D-12B	82	バレー部	黒下 龍二(D-41Y)	
22	富山・石川	滝尻 茂晴	D-37A	理事及び監事			
				83	逸見 仁道	D-22B	代表理事
				84	田口 恭治	D-22B	副会長
				85	寺門 哲	D-29B	
				86	今泉真知子	D-20B	監事
				87	小川 洋子	D-12B	
				88	神戸 敏江	D-36B	
				89	嶋田 直樹	D-35B	
				90	島袋 幸昭	D-20B	
				91	村上 純子	D-18B	
				92	鈴木 秀樹	D-36B	
				93	豊川 夕姫	D-31A	
				94	小野寺 敏	D-24B	
				95	高田 公彦	D-28B	

(敬称 略)

新社員紹介

2022年5月と7月の理事会で新たに2名が代表社員として承認されました。

クラス選出社員

前田 善子 (旧姓 大野) (D-43S 平成7年卒)

この度、クラス代表を仰せつかりました、平成7年卒の前田と申します。卒業後、漢方薬局で7年半勤務し、現在は育児の傍らドラッグストアで日々研鑽を積みながら働いております。

在学中は、講義・実習、研究室での活動や部活動で多くの皆様の支援を頂き、お陰様で楽しく充実した日々を過ごすことができました。その中で今でもお付き合いが続いている学校関係者、先輩、後輩、同級生に出逢うことができ、繋がりが持てたことが何よりの財産であると感じております。

縁あってこういった機会を頂きましたので、同窓生の繋がりが広がる活動を支援しながら、時が経っても皆様に財産と感じていただけるよう自身の役割を果たせればと考えております。引き続きご指導ご鞭撻よろしくお願い申し上げます。

部活クラブ選出社員 「和敬清寂のこころ」

茶道部 竹花 富美子 (D-33B 昭和60年卒)

茶道では、人と和み、人を敬い、清い心で、どのような事態でも慌てず動じないという和敬清寂の心が大切とされます。その茶道を学ぶことによって、主体性、協調性、論理的な思考力、問題解決能力、コミュニケーション力、ストレスをコントロールする力などが育まれていきます。これらの力は薬剤師にも必要な力です。私は部活クラブ代議員となり、その学びの場となる茶道部の活動の周知を図り、より多くの学生が参加できる環境づくりに努めたいと思います。

薬剤師業務は対物中心から対人中心への転換の推進が行われている現在、大学で勉学以外にクラブ活動の重要性が見直される時期だと感じております。その重要性を大学関係者にもご理解いただきたいと願っています。

社会で必要とされ貢献できる薬剤師を目指すためには、大学での学びと共に茶道部で育まれる文化力の必要性も強く感じます。一人でも多くの学生さんに茶道の学びにふれていただけるよう微力ながら尽力したいと思っております。



保険調剤薬局
はっせんどう

薬局長
竹花 富美子

- ◆研修認定薬剤師
- ◆裏千家茶道講師
- ◆フラワーアレンジメント講師

神奈川県相模原市南区古淵2-18-3
山政ビル1F
☎ 042(758)8003 (日曜祝日定休)
FAX 042(769)1193
携帯 080-6524-8000
✉ 093hassendou@gmail.com
http://www.hassendou.com

支部会紹介

— 全国の昭薬同窓会支部を順次紹介いたします。 —

岩手支部紹介 岩手支部長 宮 良男 (D-24A 昭和51年卒)

岩手県には同窓生が60名ほどいるようですが、現に把握しているのは40名ほどです。何しろ四国四県に匹敵する広さを持つ岩手県ですので県内を隅から隅まで把握するのは至難の業です。新型コロナ流行以前には2年に一度、盛岡で同窓生が集まり近況報告や母校の様子、仕事上の情報を交換し懐かしいひと時を過ごし親交を温めておりました。

そのような状態で全支部中会費納入率がトップクラスなのは自慢です。

「いわて」と言えば野球の大谷翔平、菊池雄星、佐々木朗希選手が活躍中ですが平泉、橋野鉦山、御所野遺跡と3か所の世界遺産、国立公園では十和田八幡平と陸中海岸と2か所あります。そのうえ多くの温泉、山岳、スキー場、浄土ヶ浜はじめ海水浴場と自然と文化に恵まれ、休日のドライブにこと欠かしません。

私は世田谷校舎で育ちましたが、上京の折に寄ってみると校舎はありませんが当時通った松月庵の建物だけが残っており嬉しくなったことを覚えています。

岩手山と一本桜



花輪線のSL(昭和時代)

支部会便り

東京城北支部会

吉田 定 (D-16・昭和43年卒)
日 時：令和4年9月11日(日) 14:00～19:30
場 所：IKE・BIZ6階第2会議室
(旧としま産業振興プラザ)

総会は、高田一義氏 (D-16) の司会で開催され、代表理事の逸見会長よりご挨拶をいただきました。

議事に入り報告1、報告2、議案1、議案2、も承認されました。一旦休憩の後研修会は今泉真知子氏 (D-20B) の司会により開催しました。

研修会は、大東文化大学名誉教授大城さとの先生 (D-24B) を講師にお迎えして、『薬学が私の研究と教育の原点 = 医歯薬・健康関連領域における研究、教育への活用』というテーマでご講演いただきました。興味深いテーマで有意義なお話を聞く事が出来ました。ご本人の努力は元より周囲の人をひきこんでまんべん

なく努力したご本人の人柄が評価されたものと思えました。これからも楽しみにしています。

最期になりましたが、支部会開催にあたり同窓会より多大なご支援を賜りありがとうございます。来年もまたおあいしましょう、ご出席をお待ちしています。懇親会はコロナの影響で今年も中止となりました。

1日も早くコロナ禍が収まる事を願っています。



60周年記念号 皆様からのメッセージ 誤植の訂正とお詫び

令和4年4月にお届けいたしました記念号に下記のとおり誤植がございましたので、訂正してお詫び申し上げます。

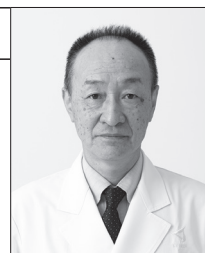
会報122号(60周年記念号)11頁「皆様からのメッセージ」左列上から3枚目
・平川心一郎様のメッセージ

1行目 (誤)63歳まで制約会社に勤め、⇒(正)63歳まで製薬会社に勤め、

ご寄稿いただきました平川様ならびに関係者の皆様にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

学究の広場

COVID-19治療薬の紹介



吉成 清志 (D-30B 昭和57年卒)
杏林大学医学部付属病院 薬剤部長

杏林大学医学部付属病院の病院薬剤師として勤務を始めて約40年が経ち、その間に中央業務(調剤室、製剤室、TPN調製室)や病棟専任(総合内科、小児科、救命救急、OPE/ICU)を経験し2020年4月より薬剤部長として勤務しております。しかしながら私が薬剤部長に昇任した時期は、コロナ感染が全国的に拡大し始めた時期でした。

その為に大学病院として患者の受け入れ、業務の見直し、医薬品の供給、管理等に追われる毎日でした。この2年間を振り返るとCOVID-19治療薬も特例承認が積極的に行われ数多くの医薬品が使用されてきましたので改めて紹介したいと思います。COVID-19治療薬は、ワクチン接種開始によって重症患者対象から軽症・中等症の患者へと変更され中和抗体が中心になっております。ここからは、個々の説明を行いたいと思います。

【レムデシビル】レムデシビルはもともとエボラ出血熱の治療薬として開発されていた抗ウイルス薬。ウイルスのRNAを合成する酵素プロテアーゼを阻害する事で増殖を抑える薬剤です。

日本では2020年5月、重症患者を対象に『ベクルリー』の製品名で特例承認。21年1月には添付文書が改訂され、中等症の患者にも投与できるようになりました。従来は日本政府とギリアドの販売契約に基づき、国が一括して買い上げて医療機関に配布してきましたが、安定供給の見通しがたったことから、21年8月に保険適用され、同年10月からは通常の医薬品と同様の流通体制へと移行しました。これまでの知見によると、レムデシビルは人工呼吸や高流量の酸素投与に至った重症例では効果が期待できない可能性が高いものの、そこまで重症化していない酸素需要のある患者には有効性が期待できる薬剤です。

【デキサメタゾン】デキサメタゾンは重症感染症や間質性肺炎などの治療薬として承認されているステロイド剤です。英国で行われた大規模臨床研究で重症患者の死亡を減少させたと報告されており、

標準的な治療法の1つとなっています。

【バリシチニブ】JAK阻害薬バリシチニブ(製品名:オルミエント)は、サイトカインによる刺激を伝えるJAK(ヤヌスキナーゼ)を阻害する薬剤。COVID-19は重症化すると、サイトカインストームと呼ばれる過剰な免疫反応に重篤な臓器障害を起こすことが知られています。バリシチニブは免疫異常による炎症を抑える作用を持ち、日本では20年4月に中等症から重症の患者を対象に特例承認されました。日本では、入院下でレムデシビルと併用しますが、米国ではレムデシビルと併用しない投与も認められています。

【カシリビマブ/イムデビマブ】中和抗体カシリビマブ/イムデビマブ(製品名:ロナプリーブ)は、2つの中和抗体を組み合わせて使う抗体カクテルです。新型コロナウイルス表面のスパイクタンパク質に結合し、抗ウイルス作用を発揮します。米リジェネロンが創製し、中外は日本での開発・販売権を保有。21年7月に治療薬として特例承認を取得し、同年11月には濃厚接触者と無症状感染者に対する発症抑制のための投与も承認されました。同薬の投与対象となるのは、重症化リスト因子を持つ軽症・中等症の患者。ただし、現在、国内でも感染症が増加しているオミクロン株では中和活性が低下する事が報告されており、厚生労働省はオミクロン株への感染が明らかな患者やその可能性が高い患者にはロナプリーブの投与は推奨されてないとしています。

【ソトロビマブ】ソトロビマブ(製品名:ゼビュディ)は、新型コロナウイルスに対する中和抗体。英グラクソ・スミスクライン(GSK)と米ビル・バイオテクノロジーズが共同開発したもので、21年9月に特例承認を取得しました。ロナプリーブと同様に、重症化リストの高い軽症・中等症の患者が対象となります。

【モルヌピラビル】モルヌピラビル(製品名:ラゲブリオ)は、RNA依存型RNAポリメラーゼ阻害薬。

一般名	販売名	製造販売元	薬効	既承認・開発中の対象疾患
レムデシビル	ベクルリー	ギリアド	抗ウイルス薬	エボラ出血熱
デキサメタゾン	デカドロン	日医工など	ステロイド	重症感染症など
バリシチニブ	オルミエント	イーライリリー	JAK阻害剤	関節リウマチ
カシリビマブ/イムデビマブ	ロナプリーブ	中外製薬	中和抗体(抗体カクテル)	—
ソトロビマブ	ゼビュディ	グラクソ・スミスクライン	中和抗体	—
モルヌピラビル	ラゲブリオ	MSD	抗ウイルス薬	—
シズマブ	アクテムラ	中外製薬/スイス・ロシュ	抗IL-6R抗体	関節リウマチなど
ニルマトレルビル/リトナビル	パキロビット	ファイザー	抗ウイルス薬	—

ウイルスの増殖を防ぐ効果があり、日本では21年12月に新型コロナウイルスに対する初の経口抗ウイルス薬として特例承認されました。ラゲプリオの投与対象となるのは、重症化リスト因子を持つ軽症・中等症の患者の患者。1回4カプセルを1日2回、5日間投与します。国際共同P3試験では、入院や死亡のリスクをプラセボに比べて30%抑制しました。海外では、21年11月に英国で世界初の承認を取得し、同年12月には米国でも緊急使用許可を取得しています。

【トシリズマブ】抗IL-6受容体抗体トシリズマブ(製品名:アクテムラ)は、サイトカインの1種であるIL-6(インターロイキン-6)の作用を阻害する事で炎症を抑える薬剤。バリシチニブと同様に、免疫異常による炎症を抑制し、重症患者の症状を改善する薬剤として有効性が進められ、日本では22年1月に承認されました。米国でも21年6月に緊急使用許可を取得しており、欧州でも21年12月に承認されています。

【ニルマトレルビル/リトナビル】ファイザーが開発した抗ウイルス薬ニルマトレルビル/リトナビル(製品名:パキロビットパック)は、2022年1月に特例承認を取得。ファイザーが開発した3CLプロテアーゼ阻害薬ニルマトレルビルと、同薬の代謝を阻害して効果を高めるリトナビルを併用します。高リスクの軽症から中等症の患者を対象に行われた臨床試験では、入院・死亡のリスクを89%(発症から3日以内に服用開始)または88%(発症から5日以内に服用開始)抑制しました。

【その他】抗インフルエンザウイルス薬として承認されているファビピラビル(製品名:アビガン)は、20年10月に富士フィルム富山化学が承認申請を行いました。厚生労働省の専門家部会は効果が確認できないとして承認を見送りました。従来は、観察研究として国が医療機関に薬剤を提供していましたが、21年12月、厚生労働省は観察研究のための提供を終了。富士フィルム富山化学が21年4月から行っていた2本目のP3試験も22年3月末で患者登録が打ち切られました。疥癬などの治療薬として承認されている駆虫薬イベルメクチン(MSDのストロメクトール)もウイルスの増殖を阻害する可能性があるとしてされており、北里大がCOVID-19の適応追加を目指した医師主導治験を進めているほか、興和が企業治験を実施中です。他に吸入ステロイド薬(帝人ファーマのオルバスコ)やタンパク分解酵素阻害薬ナファモスタット、カモスタット(小野薬品のフオイパン)なども有効性や安全性などから投与を推奨されませんでした。

【開発中の主な薬剤】

<経口抗ウイルス薬>塩野義製薬のS-217622はニルマトレルビルと同じ3CLプロテアーゼ阻害薬で、現在、P2/3試験の最終段階を実施中。日本では今年2月、同試験のP2bパートの結果をもとに、条

件付き早期承認の適用を求めて承認を行いました。米NIH(国立衛生研究所)の支援を受けたグローバルP3試験も始める予定です。米アテアが開発したRNAポリメラーゼ阻害薬AT-527も国際共同P3試験が進行中。同社はスイス・ロシュと同薬の開発・販売で提携していますが、21年11月に契約を今年2月で解消すると発表しました。日本ではロシュ傘下の中外製薬が臨床試験を行っていましたが、提携解消に伴って国内での開発を終了。アテアは独自に開発を続ける方針ですが、日本での開発については明らかになっていません。オンコリスバイオファーマは鹿児島大が見出した抗ウイルス薬を開発しており、22年上半期までに前臨床試験を終え、その後臨床試験に入ることを目指しています。ペプチドリームは抗ウイルス作用を持つ特殊ペプチドの開発を進めていて、20年10月に富士通などと開発のための合併会社を設立。富士通の量子コンピューティング技術などを活用し、開発を加速されるといいます。

<中和抗体>カシリビマブ/イムデビマブやソトロビマブ以外の中和抗体では、英アストラゼネカの抗体カクテルAZD7442が21年12月に米国で緊急使用許可を取得。日本でも開発が行われています。米国では、イーライリリーとカナダのアプセラが開発した中和抗体バムラニビマブ/エテセビマブも緊急使用許可を得ています。

<重症患者に対する治療薬>エーザイは、かつて重症肺血症を対象に開発していたものの、P3試験で主要評価項目を達成できずに開発を中止したTLR4拮抗薬エリトランの臨床試験を開始。試験は、Global Coalition for Adaptive Researchによる国際共同治験『REMAP-COVID』として行われ、米国で開始した後、日本を含むグローバルへと拡大する予定です。エリトランは、サイトカイン産生の最上流に位置するTLR4(Toll様受容体4)の活性化を阻害する薬剤で、サイトカインストームの抑制を狙います。

塩野義製薬は、アレルギー性鼻炎を対象に開発していたDP1受容体拮抗薬『S-555739』について、COVID-19の重症化を抑制する薬剤として、米バイオエッジに導出する契約を締結。同社は今年上半期中にP2試験を開始する計画です。

以上ですが、この2年間は活発に治験・販売が進められてきました。また新型コロナワクチンの開発も進んできています。今後それぞれの薬剤の有効性・安全性が判明しCOVID-19の予防・治療方針が決定していく事と思います。

略歴

学歴:昭和57年	昭和薬科大学 薬学部卒	
職歴:昭和57年	杏林大学医学部付属病院 研修生	
	昭和59年	同病院 入職
	平成30年	薬剤科長
	令和1年	副薬剤部長
	令和2年	薬剤部長
	令和3年	東京都病院薬剤師会 教育研修部 副部長
	令和3年	医薬品適正使用協会 理事



安西英明氏が 旭日双光章 を受章されました。

令和4年度春の叙勲で、安西英明氏（D-23A 昭和50年卒 香川県支部支部長 元香川県薬剤師会会長）が旭日双光章（薬事功労）を受章されました。

亀崎信明氏が 瑞宝双光章 を受章されました。

令和4年度春の叙勲で、亀崎信明氏（D-17A 昭和44年卒 埼玉県支部）が瑞宝双光章（学校保健功労）を受章されました。

安部好弘氏が 藍綬褒章 を受章されました。

令和4年度春の褒章で、安部好弘氏（D-31A 昭和58年卒 東京都 城北支部 日本薬剤師会副会長）が藍綬褒章（薬事功績）を受章されました。

心よりお祝いを申し上げます。

平成塾薬剤師業務支援講座報告

〈かかりつけ〉を意識した取り組みと在宅業務における現状と課題

日時：2022年5月22日（日）13：00～14：30

形態：Zoomによる遠隔研修会

講師：株式会社玉屋利兵衛 代表取締役

安井 浩 先生（D-42Y 平成6年卒）



2015年に厚生労働省が公表した「患者のための薬局ビジョン」において、「かかりつけ」としての機能は医薬分業の意義である旨が示されています。またその機能の一つとして在宅医療の

対応や地域包括ケアシステムにおける他職種との連携についても明記されています。演者の薬局では日頃から「かかりつけ」として地域住民に選んでいただけることを意識して業務に取り組んでいますが、在宅医療

についても患者様の状況に応じて出来るだけ柔軟に対応しています。今回は先生の薬局における「かかりつけ」を意識した取り組みや在宅業務の現状や問題点などについて講演していただきました。なお、患者対応について具体例を知りたいという複数の質問が寄せられ、受講者の関心の高さがうかがわれました。

演者略歴

1994年 昭和薬科大学薬学部薬学科 卒業
埼玉医科大学病院 入職
1997年 株式会社エール薬局 入社
2003年 株式会社ダムファーマ 関西地区エリアマネージャー就任
2005年～ 運営副本部長 就任
2006年～ 株式会社メディカルハートランド 運営管理課 課長就任
2007年 株式会社アプロ・ドットコム 入社
紹介事業部マネージャー及び紹介責任者 就任
2009年 株式会社玉屋利兵衛 創業 代表取締役 就任
2009年～やまのべ駅前調剤薬局 開業
2010年～陵南調剤薬局 開業
2018年～ケアーズ訪問看護リハビリステーション大宮大成 開業
2021年～有料老人ホーム「はなあかり」 開業
現在に至る

循環器疾患の最新の薬物治療と薬剤師が注意すべきポイント

日時：2022年7月24日（日）13：00～14：30

形態：Zoomによる遠隔研修会

講師：国立研究開発法人 国立国際医療研究センター

病院 薬剤部 有山 真由美 先生

超高齢化社会の日本において、虚血性心疾患や不整脈、心不全をはじめとする循環器疾患の患者数は増加の一途を辿っており、健康長寿を達成するためには循環器疾患の克服が何より重要です。循環器疾患は、薬物治療が患者の予後やQOLの改善に大きく貢献する事が分かっており、適切な薬物治療を提供するために、薬剤師は治療効果・副作用・相互作用の確認（OTC薬を含む）、ポリファーマシーへの取り組み、服薬アドヒアランスを維持するための支援など、果たすべき

役割は多岐に渡ります。また、様々な循環器疾患の終末像である心不全は、近年、ガイドラインの改定や新規作用機序の治療薬の登場により、薬剤師が確認すべき事項が増えています。代表的な循環器疾患の最新の薬物治療を4つに分類し、薬剤師が注意すべきポイントに焦点をあてて、概説して頂きました。演者のご指摘通り、患者数の増大を反映してか遠隔研修会では最高の50名を超える申込者がありました。

演者略歴

平成21年 帝京大学薬学部薬学科卒業
平成23年 帝京大学大学院薬学研究科臨床研究コース 修了
平成23年 国立国際医療研究センター病院 薬剤師レジデント
平成25年 国立国際医療研究センター病院 薬剤師
現在に至る

平成29年より病棟薬剤師として循環器病棟を担当、令和2年度より、HCU病棟（ハイケアユニット）で急性心筋梗塞や重症心不全患者の薬学管理を担当

<取得資格> 平成29年 スポーツファーマシスト
令和3年 心不全療養指導士

著書紹介

色は匂へど散りぬるを（夢幻のハル濱） 幻冬舎

「色は匂へど散りぬるを」へ込めた思い

藤本美智子（D-11B 昭和38年卒）

目下、毎日ニュースで自にしているロシアとウクライナとの戦いでは、戦争という言葉はなるべく避けられているようですが、戦争がどんなに愚かなことか、私達はもう充分に知っているはずなのに、歴史では何年も同じことが繰り返されています。

かつて、日本も他国へ侵略し、その土地を我が物顔に植民地化した行いは、紛れもない事実のはずですが、私達（戦前生まれの私の年代においてさえ）は、このことを正確に学校で学ばないまま卒業しました。孫達の世代の今の教育ではどうなっているか、正確には私は知りませんが、出来るだけ触れたくないというのが、国の思惑かもしれません。

薬剤師の仕事の傍ら、日本語教師も務めていた私は、受け持っていた研修生（日中合弁会社の技術者）の一人に「夏休みでハルピンに帰るので、その間に遊びに来ませんか？」と誘われて、夫と二人で彼の故郷、ハルピンを訪れました。そして、その聖ニコライ会堂（ロシア正教会）に展示されていた数々の写真を見て衝撃を受けました。そこには、侵略されて初めはロシア化され、その後には日本化された中国（旧満州）の様子が写し出されていたのです。ロシア人や日本人が見るからに裕福そうな生活をしている様子の傍ら、貧苦のどん底に置かれてあえいでいる中国人民の姿が、ありありと伺えたのです。

ハルピンという街に興味を持った私は、帰国後、ハルピンに関する文献を読み漁って、あまり公にされていない様々な事実を知りました。植民地化した街を繁栄させるために、半分国策で遊郭が作られ、貧しい少女達がそこへ送り込まれたという事も……。

母は若い頃、ハルピンに住んでいたと聞いたことがあるので、母の年代の少女を主人公にして、戦前に外地で思春期を過ごした一人の女性の生き様を、小説として書いてみようと思いついたのです。それが「色は匂へど散りぬるを」です。

私に取っては、全く未知の年代、未知の土地なので、文献を頼りにして物語を作り上げていきました。内容は全てフィクションですが、日中戦争中の時代背景や、当時のハルピンの街頭描写は、出来るだけ文献に沿って忠実に記した積りです。

遊郭を舞台にしたために、そちらの方へ関心を持った方も多いようですが、根底には、女の立場から見た戦争反対の気持ちをしつかりと込めた積りなので、それを汲み取って読んで頂けると嬉しく思います。（続く）



略歴

昭和薬科大学卒業。薬剤師、日本語教師。「白菊の花束」で、第15回日本新聞協会エッセー賞受賞。「赤いカンナの花の下に」で、第14回ふくい風花随筆文学賞優秀賞と、第14回仁愛女子短期大学賞を同時受賞。

「色は匂へど散りぬるを」はハルピンの遊郭で働いていた女性が、別著「シルダリヤ川に流した赤い糸」はウズベキスタンに、日本語教師として赴任した女性が主人公です。二冊とも電子書籍でも読むことが出来ます。

答えはホームページでCHECK!! <http://www.shoyaku.net>

昭薬
ニクス

骨粗鬆症の注射薬とインスリン注射薬の違い

或る日、檀那さんとツマ子さん夫婦の元へ、友人の板井さんが訪ねてきました。板井さんは2型糖尿病ですが、現在はインスリン注射で治療をしています。今日は板井さんの奥さんの折枝さんの事が話題になりました。折枝さんは、骨粗鬆症と言われて骨折を心配しています。

板井さん： 折枝は今度、骨粗鬆症注射にフォルテオという注射薬を打つようになったんですよ。

檀那さん： その注射は病院で打ってもらうの？

板井さん： それが、僕のインスリン注射と同じで1日1回の自己注射だというんだよ。

ツマ子さん： 折枝さんは、板井さんのインスリン注射をみているから、あまり抵抗は無いのかもしれないわね。

檀那さん： その注射はインスリンと同じ様に扱うの？

ツマ子さん： 同じ扱いと違う扱い方もあると言われていたそうだよ。

檀那さん： 扱い方のどこが違うの？

Q： 骨粗鬆症治療薬のテリパラチド製剤のフォルテオ皮下注とインスリン注射薬の違いについての記載で正しいのは以下のどれですか？

- ① 注射部位がインスリン注射は腹部大腿部、フォルテオ注は主に上半身
- ② 使用後にインスリン注射は常温、フォルテオ注は冷蔵庫で保管
- ③ インスリンは使用期間の制限は無いが、フォルテオ注は24ヶ月迄
- ④ インスリン注射は28日間使用して残った注射液は廃棄するがフォルテオ注は最後まで使用可能

昭薬同窓生りし一寄稿

第 8 回

柴田 雄亮 (D-51S 平成15年卒)
キッセイ薬品工業株式会社 製剤研究所

長野県安曇野市のキッセイ薬品工業株式会社製剤研究所に勤務しております柴田と申します。平成15年に昭和薬科大学を卒業し、平成17年に昭和薬科大学大学院を修了し、約17年が経過しました。大学及び大学院時代は職員の皆様や良き友にも恵まれ、とても充実した学生生活を送ることが出来ました。部活動はハンドボール部に所属し多くの大会に出たり、飲み会をしたり、また研究室は薬剤学研究室に所属し研究の醍醐味を指導頂くなど多くの出来事が最近のことのように思い出されます。

私は大学を卒業し、研究の面白さに魅了され大学院に進学しました。担当したテーマは、溶けにくい薬物を溶けやすくするという技術に関する研究で、溶けなかった薬物が高い溶解性を示すようになるという現象を目の当たりにしたときは非常に驚いたことを今でも鮮明に覚えています。大学院時代に経験させて頂いた研究の面白さや楽しさ、また都会では味わえない自然の醍醐味にもひかれ、縁あってキッセイ薬品工業株式会社に入社しました。

入社以来一貫して製剤研究に従事し、これまで経口固形製剤(Phase I～商用品の生産立ち上げ)に関する検討、工場への技術移転、承認申請、特許等、幅広い業務を経験しています。また、過去数品目の承認申請業務(口腔内速崩壊錠、希少疾病医薬品等)にも携わり、長年の研究成果を医薬品として上市することができ、患者さんに対して微力ながら貢献出来ていると思います。

現在は4児(7歳、5歳、3歳(双子))の父となり、妻とも協力し、育児と仕事を両立しながら日々奮闘しています(写真参照)。これからもワークライフバランスを重視しながら、患者さんのために貢献できる医薬品を1つでも多く上市できるように、自己研鑽に励み努力を継続していきます。



次回の寄稿者は藤田 健二氏 (D-52 平成14年卒) です。

会員のひろば

訃報に寄せて

鈴木 秀樹 (D-36B 昭和63年卒)

広報 昭和薬科大学 No.26 掲載の訃報を目にして愕然とされた同窓生も多かったと思います。

令和3年12月20日に荒井洋子先生、令和4年2月14日に楠正三先生がご逝去されました。

荒井洋子先生は本学同窓生(D-13B)であり植物化学研究室に所属されておりましたので、実習等でお世話になった方々も多いと思います。私は大学4年の時から大学院、その後大学に勤めてからと荒井先生には永きに亘り大変お世話になりました。

楠正三先生は人文・社会研究室に所属されており、心理学の講義を担当されておりました。心理学は選択科目ではありましたが、先輩方から薦められる等、人気のある教科の一つでした。薬剤師として患者さんと接する際にも心理学は必須の学問で、思い出されることもしばしばあります。

荒井洋子先生も楠正三先生も我々の世代にはお世話になった思い出深い先生方であり、謹んでご冥福をお祈りいたします。

会員のひろばメッセージ募集!

学生時代や母校・恩師の思い出、職場のPRや近況報告、お仕事、趣味の話、会報の感想など内容は自由です。50～800字程度。短い一言メッセージも歓迎。皆様からのご投稿をお待ちしております。氏名(卒業年またはクラス名)、ご連絡先(住所・電話番号・メールアドレス等)、をお書き添えのうえ、同窓会事務局まで郵送・FAXまたはEメール(件名「会員のひろば」)でお送りください。昭薬同窓会ホームページからもご投稿いただけます。

寄付者ご芳名 (敬称略)

2021年度 運営協力金 ならびに 災害寄付

多くの皆様からご寄附いただきました。心よりお礼申し上げます。

運営協力金 (2021年度)

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

S17 宮下 初枝	D12B 三上 恵美子	D18B 梅村 幸夫	D24A 室伏 昭	D31B 小林 武史
D1 小澤 博	D12B 勝又 教子	D18B 櫻井 法子	D24B 渡辺 富美子	D32A 細田 淳子
D2 上野 利八	D13A 下地 典子	D19A 吉原 隆一	D24B 渡辺 良樹	D32A 室 和恵
D2 清遠 明美	D13A 大橋 寿美	D19A 崎山 慶子	D24B 毛利 邦彦	D32A 辻 多須子
D3A 中村 正子	D13A 北原 正宣	D20A 濱田 博夫	D25A 近藤 信忠	D32B 塚本 久美
D4B 十時 貴子	D13B 曾澤 静子	D20A 山崎 和幸	D25A 三浦 敦子	D32B 大川 正晃
D6A 鈴木 久子	D13B 磯島 征子	D20A 和田 恵子	D25A 上村 義昭	D33A 岸 千草
D6A 野田 和子	D13B 我喜屋 宏	D20B 安田 準一	D25A 高橋 仁美	D33B 近藤 潤子
D7A 愛甲 京子	D14A 高取 亨	D20B 須田 正治	D25B 川合 緑	D33B 竹花 富美子
D7B 石岡 弘	D14B 広瀬 れい子	D20B 藤井 侃	D25B 國場 幸史	D33B 山田 弘美
D8B 森安 美也子	D14B 宮本 伊代子	D20B 藤井 光子	D26B 田口 淳一	D33B 森 久美子
D8B 橋本 逞三	D14B 小野 文子	D21A 大石 博	D26B 緑川 淑枝	D34B 小林 広幸
D9A 石塚 とみ子	D14B 大西 義雄	D21A 仲村 明	D27A 近野 美穂子	D35B 浅井 みすず
D9B 原田 登子	D15A 荒野 壽子	D21B 本部 一郎	D27A 永岡 嘉子	D35B 中村 明生
D10A 谷本 善彦	D15B 梶原 弘満	D21B 与儀 純子	D27A 吉富 むつみ	D35B 嶋田 直樹
D10A 木下 千恵子	D15B 梶原 由美	D21B 鈴木 民和	D27B 本田 京子	D36B 大瀧 絵美
D10B 高木 常吉	D16 恵木 久子	D22A 三好 昌子	D27B 齊藤 眞由美	D36B 佐藤 つづり
D11A 吉見 力	D16 高野 貴美子	D22A 杉浦 和子	D28A 高橋 忠弘	D37A 滝尻 茂晴
D11A 古泉 秀夫	D16 高野 鴻一	D22A 村上 浩子	D28A 阿久津 朋子	D37B 中原 美和子
D11A 齋藤 晋	D16 吉田 定	D22B 逸見 仁道	D28A 竹口 清彦	D37B 前田 栄紀
D11A 高間 徹	D16 神坂 隆子	D22B 関東 好美	D28A 長谷 倫子	D38A 谷口 知美
D11B 宮崎 安弘	D16 神作 ムツ子	D22B 岩崎 晃	D28B 今村 幸子	D38A 望月 江利花
D11B 中枝 和子	D16 徳永 恭子	D22B 佐藤 正美	D28B 森島 多佳子	D40Y 草野 元
D11B 藤本 美智子	D16 峯尾 龍巳	D22B 松浦 功文	D29B 川神 裕司	D41S 村田 明美
D12A 遠藤 真知子	D16 高田 一義	D22B 石川 年春	D29B 内田 真理子	D41Y 山口 慎子
D12A 大島 典子	D17A 根橋 清子	D22B 田口 恭治	D30A 杉井 智子	D42S 小平 朱美
D12A 戸谷 道子	D17A 野崎 芳雄	D23A 古謝 通子	D30A 矢吹 孝子	D44S 石田 耕太
D12A 山本 剛	D17B 佐藤 博子	D23A 明月 砂代子	D31A 吾妻 潤子	D45S 長野 有希子
D12A 鈴木 マリナ	D17B 望月 久仁子	D23A 與儀 和子	D31A 佐藤 嘉洋	D45Y 柳川 義嗣
D12B 岡崎 由美子	D18B 上原 美沙子	D23B 西本 隆志	D31A 堀岡 広稔	D46S 川上 和宜
D12B 吉村 富枝	D18B 三瓶 几典	D23B 川畑 和昭	D31B 浦山 剛	匿名 4名
D12B 桑島 紀美	D18B 蔵田 陽子	D23B 梅庭 昌子	D31B 下山田 博久	

162名 (174件) 寄附総額 585,000円

災害寄付 (2021年度)

(令和3年4月4日～令和4年3月31日)

S17 高取 千佐子	D13A 北原 正宣	D21A 仲村 明	D27B 齊藤 眞由美	D33B 竹花 富美子
D2 清遠 明美	D14A 高取 亨	D21B 与儀 純子	D28A 竹口 清彦	D34A 荒木 美智子
D4B 十時 貴子	D14B 宮本 伊代子	D22A 杉浦 和子	D28A 長谷 倫子	D34B 小林 広幸
D7A 愛甲 京子	D16 高野 貴美子	D22B 関東 好美	D28B 今村 幸子	D35B 浅井 みすず
D9B 原田 登子	D16 吉田 定	D22B 佐藤 正美	D30A 杉井 智子	D35B 嶋田 直樹
D10A 谷本 善彦	D16 高田 一義	D23A 古謝 通子	D31A 佐藤 嘉洋	D36B 大瀧 絵美
D10A 木下 千恵子	D17B 佐藤 博子	D23A 明月 砂代子	D31A 堀岡 広稔	D37B 前田 栄紀
D10B 高木 常吉	D18B 上原 美沙子	D23A 與儀 和子	D31A 末廣 隆	D38A 谷口 知美
D11B 片岡 美智子	D18B 渡辺 淑恵	D23B 川畑 和昭	D31B 下山田 博久	D38A 望月 江利花
D12A 大島 典子	D18B 小早川 美智子	D23B 川畑 文代	D32A 室 和恵	D41S 村田 明美
D12A 戸谷 道子	D18B 竹川 正恵	D24B 渡辺 富美子	D32A 辻 多須子	D41Y 山口 慎子
D12B 桑島 紀美	D19A 崎山 慶子	D24B 渡辺 良樹	D32B 塚本 久美	D43Y 郡 佐久美
D12B 三上 恵美子	D20A 濱田 博夫	D25A 三浦 敦子	D32B 高林 郁子	D45S 長野 有希子
D13A 松井 宏之	D20A 山崎 和幸	D25A 上村 義昭	D32B 大川 正晃	匿名 2名
D13A 大橋 寿美	D20A 和田 恵子	D26B 小林 まゆみ	D33A 岸 千草	

75名 (80件) 寄附総額 292,000円

理事及び監事の選出並びに立候補の届出等の受付に関する告示

告示

2023年3月1日

会員各位

一般社団法人昭葉同窓会 代表理事（会長）逸見 仁道

理事及び監事の選出並びに立候補の届出等の受付に関する告示

「一般社団法人昭葉同窓会定款」及び「一般社団法人昭葉同窓会理事及び監事選出要綱」に則り、下記のとおり、2023年6月18日から2025年6月15日までを任期とする理事23名及び監事2名の選出の告示をいたします。

記

- 1 理事及び監事の選出は、2023年6月18日（日）に開催される第12回社員総会において理事・監事選考委員会における選考結果を報告し、承認を得ます。
- 2 理事及び監事の被選出資格は2023年3月1日までに2022年度の会費を納入している会員とします。
- 3 立候補しようとする会員は、立候補届出書（様式第1号）及び趣意書（様式第2号）を添えて届け出てください。
- 4 立候補の届け出に必要な書類の様式は定まっております。届出関係書類一式及び関係諸規定は、事務局にご請求ください。
- 5 立候補の届け出の受付期間は、2023年3月1日から3月31日までとし、3月31日消印は有効とします。一般社団法人昭葉同窓会選考委員会宛の書留郵便で受け付けます。
- 6 その他、立候補に関するお問い合わせは、事務局にお願いいたします。

宛先 一般社団法人昭葉同窓会選考委員会

〒194-0042 町田市東玉川学園3-3138 昭葉会館5階 一般社団法人昭葉同窓会 事務局 042-722-5750

*関係書類はホームページよりダウンロードできます。

いつもご協力ありがとうございます。引き続き以下の口座で〔一般寄附〕および〔災害寄附〕を受付けています。

○災害寄附口座：郵便振替 口座番号：00100-9-485265

振込用紙は同封の振込用紙か郵便局備え付けの振込用紙をご利用下さい。郵便局備え付けの振込用紙の場合はご依頼人名欄に必ず「災害寄附」と書き、「卒業年とお名前」を入れて下さい。（例：昭和58年卒の場合、S58昭葉花子）

○災害寄附口座：りそな銀行 成瀬支店（支店番号647） 口座番号（普通）1365833

いずれも口座名義は

○一般寄附口座：みずほ銀行 町田支店（支店番号116） 口座番号（普通）1782080

一般社団法人 昭葉同窓会

会 員 訃 報

ご逝去を悼み、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。（敬称略）（）内は旧姓

S9	田中 静子（福光）	兵庫県	2019.12	D6A	和田 安弘	埼玉県	2020.2.7
S9	小牟田 エミ（徳永）	愛媛県	2022.4	D6B	青木 智史郎	神奈川県	2018.11.16
S10	平野 方子	栃木県	2019.6.10	D7B	伊藤 亮（内野）	東京都	2021.8
S12	今飯田 綾子	東京都	2018.1	D7B	川内 芳子（荻野）	千葉県	2022.3.16
S12	角田 文子（山本）	宮城県	2017	D7B	福田 貞美（加藤）	神奈川県	2020.12.11
S12	矢口 愛子	埼玉県	2022.2.6	D8A	佐野 公子（五十嵐）	東京都	2022.7.13
S13	石田 弥生	静岡県	不明	D8A	歌門 宏子	福井県	2018.9.27
S13	永井 敏子（栗山）	神奈川県	2020.3.14	D9A	奥田 敦子（吉田）	東京都	2020.11.24
S15	佐藤 久子	埼玉県	2021.12	D10A	小川 弘	東京都	2017
S15	濱田 ヤエ子（新妻）	福島県	2022.8.9	D10B	吉岡 智子（鎌田）	東京都	2022.6.8
S15	佐宗 テル（藤井）	東京都	2021.12	D11A	中村 敦子（石田）	東京都	2022.9.4
S15	渡部 純子（山田）	神奈川県	2021.11.29	D11A	川口 朋子（杉山）	静岡県	不明
S15	山本 喜代子	東京都	2018.8	D11A	高山 知子（張）	兵庫県	2022.4.24
S16	大庭 和子（外園）	北海道	2021.11.7	D12B	青山 眞佐子（梶井）	神奈川県	2022.6.30
S17	野村 久江（金子）			D12B	中村 幸治郎	東京都	2021.5.16
S18	山本 美奈子（川口）	神奈川県	2020.4.22	D13A	大橋 壽美（王）	埼玉県	2022.3.1
S18	伊藤 順（浜田）	神奈川県	2018.8.10	D13A	一法師 忠康	茨城県	2022.4.5
S18	額田 千鶴子（細井）	神奈川県	2021.2.1	D13A	原田 俊夫	愛知県	2022.7.3
S19	北川 和子（佐々木）	神奈川県	2020.8.14	D13A	高良 知子（山城）	沖縄県	2021.7
S19	仁藤 美好子（宮川）	神奈川県	2019.8.1	D13B	荒井 洋子	東京都	2021.12.20
S19	三沢 時江（渡辺）	東京都	2022.5.2	D13B	高橋 紘一郎	山形県	2018.9
S21	宮澤 延江（宮澤）	東京都	2022.5下旬	D15A	新 靖（伊井）	栃木県	2019.9.6
D1	興津 潤子（戸根木）	埼玉県	2022.3.29	D16	竹田 世明	神奈川県	2021.8.29
D3A	渡辺 久美（重山）	神奈川県	2018.7	D17A	津島 行子（永瀬）	東京都	2019.6
D3A	井上 由紀子（蓮沼）	東京都	2022.2	D19B	小堺 利郎	東京都	2021.8.5
D4B	竹内 明子（星）	埼玉県	2021	D22A	田所 智子（沖津）	大阪府	2019.9.22
D4B	吉成 親治	福岡県	2021.5.30	D24B	藤野 眞弓	東京都	2021.9.5
D5A	井川 令子（入江）	静岡県	2021.4.9	D27A	鈴木 京子	東京都	2021.6.22
D5B	長谷川 馨一	東京都	2021.4.20	D29B	五十畑 照美（城本）	神奈川県	2021.1.30
				D49S	小泉 京子	秋田県	2016.11

第12回(令和5年度)社員総会 予定

社員総会は毎年6月第3日曜日です。
 今回は令和5年(2023年)6月18日(日)となります。
 ※書面審議ならびにオンラインでの開催を現在検討しています。

平成塾薬剤師業務支援講座

業務支援講座4 オンライン(ZOOM)開催
 2022年11月20日(日)13:00~14:30
 講師:金井真純先生 漢方のスギヤマ薬局
 受講料 500円/回 認定単位 1単位
 オンライン受講が困難な方につきましては昭薬会館での受講も可能です。事前に事務局までお問い合わせください。

平成塾通信講座スクーリング

平成塾 第28回スクーリング オンライン(ZOOM)開催
 日時:2023年2月19日(日)13:00~16:15
 受講料 2,500円 認定単位:2単位
 ※2022年度平成塾通信講座受講者ならびに昭薬科大学6年制卒業生は、同窓会HPからお申込み頂くと無料で聴講できます。

第56回日本薬剤師会学術大会

会期:2023年9月17日(日)・18日(月・祝)
 開催地:和歌山県和歌山市

同窓会運営協力金のお願い

皆様のご厚情により多くの申し込みがあり心より感謝いたします。本年も引き続きご支援のほどよろしくお願いいたします。

同窓会費納入方法

口座名義:一般社団法人昭薬同窓会
 口座番号:00100-9-485265 同窓会費:3000円

郵便振替(郵便振込用紙)

注:同封の振込用紙または郵便局備え付けの振込用紙をご利用ください。

ゆうちょダイレクト

*ゆうちょダイレクトでの送金が出来ようになりますのでご利用下さい。なお、ご依頼人名欄にはお名前の前に卒業年を入れて下さい。
 例:昭和58年卒の場合、S58 ショウヤクハナコ

口座引き落としもご利用下さい

ゆうちょ銀行の口座をお持ちの方

お手持ちのゆうちょ銀行の口座から毎年6月30日に引落すものです。用紙は同窓会事務局にありますので、ご連絡いただければお送りします。

市中銀行・信用金庫の口座をお持ちの方

お手持ちの銀行及び信用金庫の口座から毎年6月3日または7月3日に引落すもので、この場合は、同窓会事務局にある所定の申込用紙に記入してください。事務局にご連絡いただければお送りします。

同窓会 会報 原稿募集!!

皆様からのご寄稿やメッセージを募集しています。

学生時代・母校・恩師の思い出、近況、お仕事・趣味の話、会報の感想など内容は自由です。

「寄稿」は字数制限なし。

「会員のひろば」は20~800字程度まで、

短い一言メッセージ、写真、イラストなども歓迎。

氏名(卒業年またはクラス名)、ご連絡先(住所・電話番号・メールアドレス等)、をお書き添えのうえ、同窓会事務局まで郵送、FAX、Eメール(件名を「会員のひろば」または「寄稿」としてください)でお送りください。昭薬同窓会ホームページからもご投稿いただけます。

ご投稿をお待ちしております

広告募集

お認め先、事業内容などを会報誌でPRしてみませんか?

同窓会では企業・クラブなどの広告や、同窓生の交流促進のための名刺広告を募集しています。事業紹介、人材募集、研修会の案内など誌を毀損させないものならどのようなでも結構です。皆様の協賛、ご出稿をお待ちしております。

広告料	1頁	1/2頁	1/4頁	1/8頁
裏表紙(カラー)	¥100,000	¥50,000	¥25,000	¥12,500
内頁(白黒)	¥60,000	¥30,000	¥15,000	¥7,500
名刺広告(横7.2×縦3.5cm、内頁・白黒) ¥5,000-				

※その他、要望等がございましたらご相談ください。詳細は同窓会HP(<http://shoyaku.net>)、または事務局までお問い合わせください。

部活クラブ代表社員を募集しています!

「部活クラブ代表」は代議員(社員)として同窓会運営に携わることができます。現在活動のないクラブ等の参加も認められておりますので、積極的にご参加ください。詳細は同窓会HPまたは事務局までお問い合わせください。

編集後記

秋の虫たちが鳴き始めましたが、相変わらずの新型コロナウイルスの感染拡大が続き、変わらない社会状況です。先日、2年ぶりに対面で大学の友人と顔を合わせて歓談できる時間がありました。オンラインより対面での良さを改めて感じつつ同窓会活動を進めていきたいと思いました。

123号の表紙は安西様からの懐かしい白樺校舎の周りの花の写真を掲載しました。逸見会長の巻頭言「変化する社会の潮流」で始まり、空手部の中谷様からの「我が学生時代の思い出」は学生生活、部活動、国家試験の懐かしい思い出、「第11回一般社団法人昭薬同窓会社員総会報告」と来年度から新しい社員として同窓会活動に参加して頂きます竹花様と前田様の紹介です。若手県支部長の宮様からは若手県支部活動を紹介して頂き、キッセイ薬品工業株式会社の柴田様からはリレー寄稿を頂きました。「薬剤師業務支援講座」では講師の安井先生と有山真由美先生の講演を頂きました。「学究の広場」では杏林大学医学部付属病院の薬剤部長であります吉成様から最新のCOVID-19治療薬の解説を頂きました。また、多くの書籍を執筆されている藤本様には「色は匂へど散りぬるを」の解説を頂きました。最後になりましたが、第7波のコロナ禍で多忙な中123号のためにご寄稿賜った卒業生の方に、この場を借りて心より感謝申し上げます。(K.T)

会報123号は「2020、2021、2022年度会費納入者」「住所が新たに判明した方」を中心に発送しております。

会報を受け取っていない同窓生がお近くにいらっしゃいましたら、事務局まで一報いただけますと幸いです。

会費を納入頂いているにもかかわらず、住所不明のため会報をお送りできない方もいらっしゃいます。よろしくお願いいたします。

発行者:一般社団法人 昭薬同窓会 代表理事(会長) 逸見 仁道

事務局:〒194-0042 東京都町田市東玉川学園3丁目3138番地 昭薬会館5階内

電話 042-722-5750 FAX 042-721-1295

Eメール: alinfo@shoyaku.net ホームページ: <http://shoyaku.net>

印刷所:株式会社 相模プリント

■会報掲載の原稿・写真等の返却について

会報に掲載した原稿、写真、イラスト等については返却いたしませんのでご了承下さい。ただし返却が必要な場合は別途なくお申し出下さい。

同窓会事務局へのお問合せは月曜日~金曜日の12時から15時にお願いたします。